

取扱説明書	RN-A024GP-HL <RSU-4600CS-L>	1 6 7 0 8 4 4	13011
	RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>	1 6 7 7 8 4 5	

保証書付

ユニット型 ガステーブル 取扱説明書

★この機器には設置工事が必要です

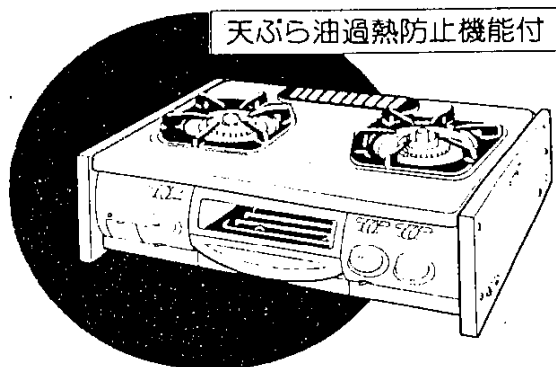


品名	
RN-A024GP-HL	機器コード 1670844
RN-A024GP-HR	機器コード 1677845

家庭用	
型式名	RSU-4600CS-L RSU-4600CS-R

よく読んで
安全に正しく
お使いください。

もくじ	ページ
安全に正しくお使いいただくために	1
各部のなまえ	6
機器の設置	7
コンロ・グリルの使い方	9
コンロ・グリルを上手に使うには	10
各装置・電池確認ランプについて	13
お手入れのしかた	14
故障かな?と思ったら	16
アフターサービス・仕様・長期間使用しない場合	17
保証書	18



- ご愛用の皆様へ
このたびはガステーブルをお買い上げいただきましてありがとうございます。
●ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
●この取扱説明書は18ページが保証書になっています。内容をよく確認のうえ、保証書とともに大切に保管してください。
●幼いお子様にはさわらせないでください。
●本製品は家庭用です。業務用のような使い方をされると著しく寿命が縮まります。
●この機器は国内専用です。海外で使用しないでください。
●この取扱説明書の他に設置工事説明書があります。機器の設置、移動、取り替え、修理の際に必要となりますので取扱説明書とともに大切に保管してください。
●取扱説明書を紛失した場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡のうえ、再購入してください。

TOKYO GAS

1 安全に正しくお使いいただくために

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険
この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されています。

警告
この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合があります。

注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみが発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な警告
- 火災警告
- 一般禁止
- 火災禁止
- 解体禁止
- 変更禁止

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電圧を使用しない。

※火や火花で引火し、燃焼事故を起こすことがあります。

①すぐに使用を中止しガス栓（中間コック）を閉める。

②窓や戸を開きガスを外へ出す。

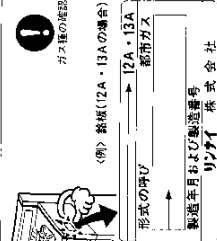
③販売店、「東京ガス」へ連絡する。

警告

■必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）を使用する。

■転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する。

使用ガスと一致していない場合、そのまま使用する
と不完全燃焼により一酸化炭素中毒に陥ったり、燃
焼や火でやけどをされたりすることがあります。また、ガス漏れ
故障の原因にもなります。銘板は機器の右側面に張
つてあります。使用ガスがわからない場合は、お買い上げの
販売店またはお近くの東京ガスにお問い合わせください。



2 安全に正しくお使いいただくために

警告

■燃えやすい物を近くに置かない。

■可燃性ガスを近くで使用しない、置かない。

カ、デンシと燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・ガソリン・ペンジンなどの引火の恐れのあるものを近くに置いたり、使用しない。機器の下に新聞紙やビニールシート等の可燃物を敷かない。引火し火災や燃焼をおこすことがあります。



■設置するとき可燃物との距離を確実に守る。

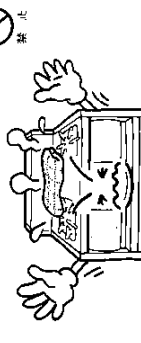
火災予防条例で定められておられます。必ず守ってください。燃焼が原因になり、また、可燃物の煙にステンレス板などを、可燃物に付けて使用に当たっても、燃焼で長年の可燃物が酸化し火災になることがあります。

■機器を設置した後周辺の改装をしない。

知戸欄などをつけることはしない。可燃物との距離が守れなく火災になることがあります。

■排気口をふさがさない。

排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。



■ガス接続には専門の資格・技術が必要

です。機器の設置・移動・買い替えの際には、必ずお買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにお問い合わせください。

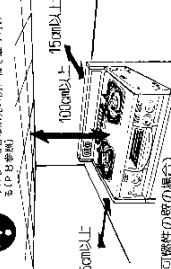


■機器に手を加えない。

お手入れのしかたはP.14、15以外の部分は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない。ガス漏れや火災の原因になります。

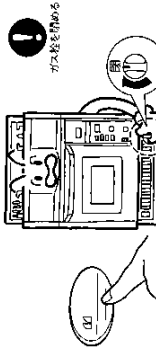


●可燃物の距離を確保すること(「可燃物の燃焼の危険を減らす(火災予防)」)



■地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。

あわてず消火しガス栓（中間コック）を閉める。「故障かなや」と思ったら（P.18）を参照ください。



■古いお子様だけで使わせない。

けがやけをさせる恐れがあります。



取扱説明書

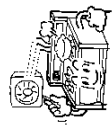
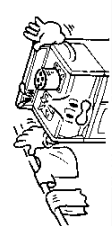


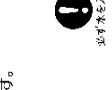

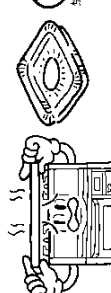

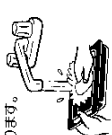
RN-A024GP-HL <RSU-4600CS-L>
RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>

1 6 7 0 8 4 4
1 6 7 7 8 4 5 13021

3

安全に正しくお使いいただくために

△注意

- 使用中は換気をする。
ご使用と同時に窓をあけたり換気扇を回すなどして換気をしてください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 調理以外に使わない。
火災や焼傷の原因になります。衣類の乾燥や焼傷の原因にはなりません。
衣類などが落下して火災になることがあります。

- トップアプレートは確実に取り付ける。
バーナーの炎がトップアプレートの下にもぐり込み火災や焼傷の原因になります。(微動内視鏡にトップアプレートを引き付けるツメがあります。取り付ける時はトップアプレート手前の面をしっかりと押さえてください。)

- グリル水入れ皿に必ず水を入れて使う。
水入れ皿に水がない場合は、たまった脂が過熱され火災の原因になります。続けて使用する時は、そのつど水を足してください。水入れ皿の底は入れないでください。

- グリル庫内に食品屑やふきんなどないことを確認する。
使用中に燃え残る原因になります。

- 使用後は必ず消火を確認する。
■外出やおやすみ前はガス栓(中間コック)をお閉める。
ガス栓閉止のために必ずおこなってください。

- 炎をふさいだり、コンロをおおわない。
■市販の補助具(アルミはく製する受け、補助ごとくなど)は使用しない。
この機器の付属品あるいは指定のもの以外は使用のなべでは使用しない。不完全燃焼や過熱による酸化炭素中毒や火災の原因になります。

- グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない。
アルミはくの上には脂がたまり発火火災の原因になります。

- グリル水入れ皿は、こまめに掃除する。
脂がたまらないように、使用ごとに掃除してください。掃除しないとたまった脂が過熱され、発火し火災の原因になります。


安全に正しくお使いいただくために

4

△注意

- 使用中、使用画後は、操作ボタン・グリルどびらを取っ手・つまみ以外はさわらない。
使用中、使用画後は、ボタン・グリルどびらを取っ手・つまみ以外は高温です。さわらないでください。特に強い衝撃がある家庭ではやけどに注意してください。

- グリル排気口に手や顔などを近づけない。
■なべの取っ手を排気口に向けない。
グリルを使うとき排気口から高温の排気が出ます。やけどに注意してください。

- 角を裏返す・取り出す時手や腕がグリルどびらやガラスに触れない。
グリルどびらやガラスは、イタチや高温になります。やけどに注意してください。

- グリルどびらガラスに水をかけない・衝撃を加えない・傷をつけない。
ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。また、どびらが変形したり、割れたりすることがあります。

- 点火操作をするときはバーナー・グリル排気口付近に顔を近づけない。
炎や熱でやけどすることがあります。

- 車中・船での使用はしない。
使用中に機器が傾いたり、火災や、やけどの原因になります。

- コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない。
衣服に炎が移ったりしてけが、やけどをする原因になります。

- グリルとびらの出し入れはゆっくり確実に。
水にゆづくゆ出し入れしてください。グリルとびらを引出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらなげ落ち、お湯がこぼれてやけどすることがあります。こぼれない様に注意してください。

- グリル水入れ皿だけを持って取り外さない。
グリルどびらが落下しけが、やけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を握って取り外してください。

- やかんやなべの取っ手をグリルバーナーの炎で過熱され焼損することがあります。火力を調節してください。
やかんやなべの取っ手は熱くなります。やけどに注意してください。

- しるぎ血はバーナーキャップの上のせたり、斜めにセットしない。
バーナーの炎がしるぎ血の下にもぐり込み火災や焼傷の原因になります。

- バーナーキャップを水洗いしたときは水をしっかり絞って乾かしてからセットする。
炎口が詰つたまま使用すると異常燃焼の原因になります。

- 機器本体内部をお手入れする場合は、各部品の突起物などに注意する。
強く当たった場合手などをけがする場合があります。


取扱説明書

RN-A024GP-HL <RSU-4600CS-L>
RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>

1 6 7 0 8 4 4
1 6 7 7 8 4 5

13031

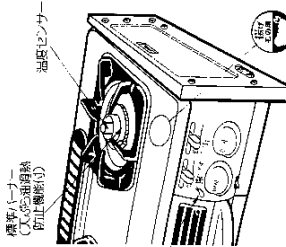
5

安全に正しくお使いいただくために

天ぷら油過熱防止機能付バーナーの場合

天ぷら油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げ物の調理で、油の温度が急激に上昇するのを抑制し、油が自然発火するのを防止する機能です。温度センサーで天ぷら油の温度を感知し、油が自然発火する前に自動的にガスを止めます。このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。

*天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに揚げ物の用とトップブレード上面に温度センサーの表示ラベルと表示してあります。



注意

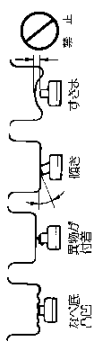
■揚げ物の調理をされるときは、必ず標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用してください。

警告

■標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）では耐熱ガラス容器土なべなど熱が伝わりにくいもので油料理はしない。天ぷら油過熱防止機能が働かず、やけどや火災の原因になります。

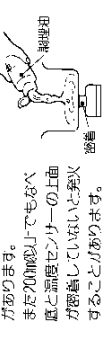
■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

・そのまま使用すると調理油の量に調整できず、油が溢れることがあります。また、なべ底と温度センサーが密着しない場合は、点検・修理を依頼してください。



■標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200ml以上であらねばなりません。

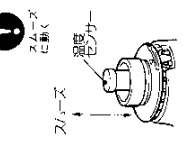
調理油の量ははじめから少なからず、減ってきたら足りなくなると発火することがあります。また200ml以下でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。



注意

■温度センサーは、上下にスムーズに動くことを確認する。

なべ底と密着しなくても調理油が溢れる場合は、温度センサーが動かない場合があります。また、動きが悪いと天ぷら油が自然発火する原因にもなります。なべの重さは調理物を言わずに300g以上が必要で、



■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない。

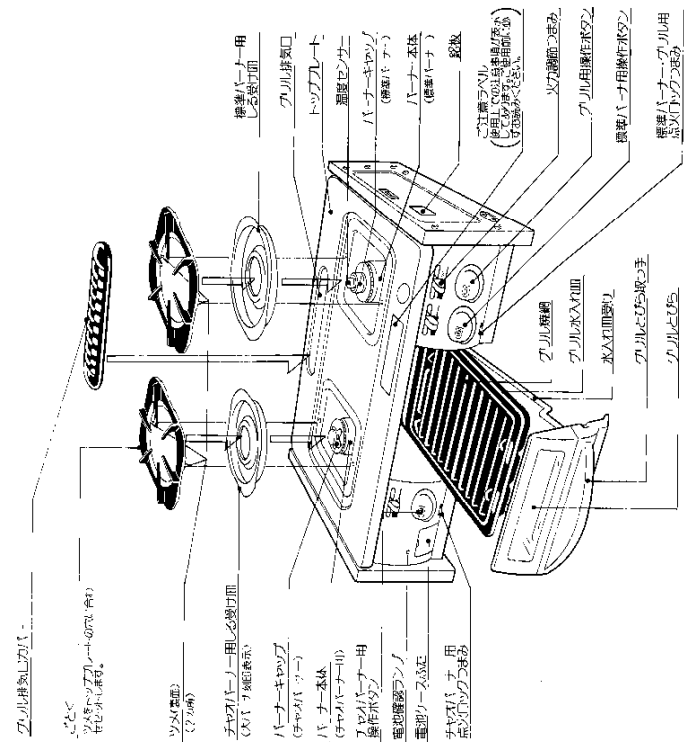
なべ底が温度センサーと密着しなくなり、温度センサーが正しく動作しない場合、調理油が発火する場合があります。



各部のなまえ

図のように入正しくセットしてください。

図はRN-A024GP-HLです。RN-A024GP-HRはチャイバーナーと標準バーナーが右図になっています。



・付属品の単1形乾電池2個が同梱されています。

6

取扱説明書

RN-A024GP-HL <RSU-4600CS-L>	1	6	7	0	8	4	4
RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>	1	6	7	7	8	4	5

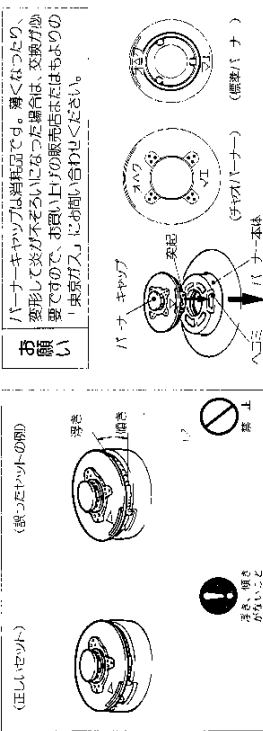
13041

7 機器の設置

部品の取り付け

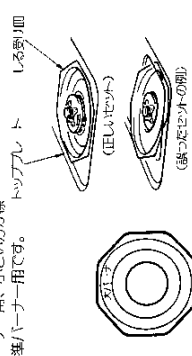
バーナーキャップ

「オウ」印を参照して、バーナーキャップの突出部をバーナー本体へのコミに押しはくはめ込みます。キャップが浮いたり傾いたりしているとき取り外しを繰り返してください。



しる受け皿

内側の穴の大きい方(大バーナー用)がキャップバーナー用です。トップレートしる受け皿



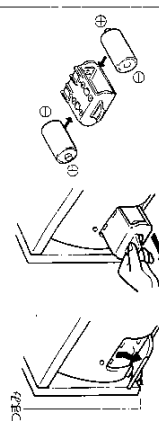
注意

■ アルミはく製の受け皿を使用すると、点滅しなかつたの逆中消火、不完全燃焼、異常過熱などすることがありますので、使用しないでください。
■ しる受け皿が正しくセットされていないと、炎や炭が燃焼内に入りこんで火災や機器損傷の恐れがあります。

単1形乾電池・2個(付属品)

電池ケースはフロント前面の左側にあります。つまみを下げながらかくとふたが開き、ケースが取り出せます。④と⑤を参照して、シフターと乾電池を入れてケースを機器本体に確実に差し込んでください。ケースまたは、必ず閉めてください。

● 乾電池の寿命は、通常約1年を目安としてください。
● 乾電池は必ず2個とも同種類の新品をご使用ください。
● 付属の乾電池は工場出荷時に締められたもので、自然放電のため寿命が短い場合があります。



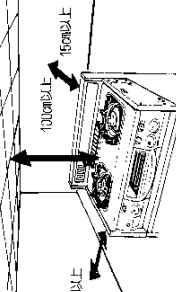
機器の設置

設置場所および周囲の防火措置

この機器は、主にコンパクト型ガス高圧レンジ・ガスコンベクションレンジと組み合わせて、一体型ガスレンジとして使用されるため、ガス管接続のホース・ストントは付いていません。
● 機器の設置、ユニット型ガス高圧レンジ・ガスコンベクションレンジとの組み付け、燃焼をゴム管接続に必要とする等、設置・ガス接続についてはお買い上げの販売店またはもよりの「東成ガス」にお問い合わせください。

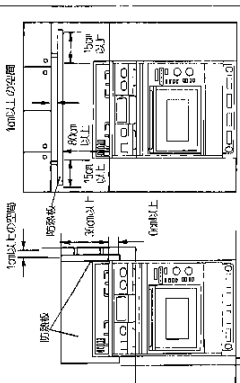
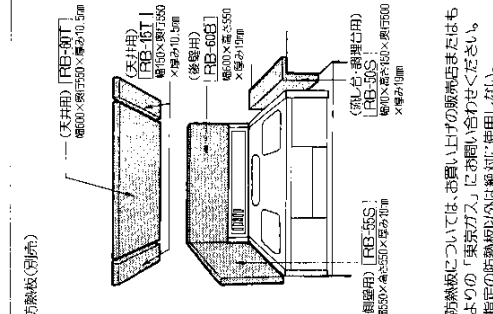
お願い

- 次のような場所に設置してください。
 - ・ 強い風の吹き込まない場所
 - ・ 直射日光・雨・雪など降りやまないのびない場所
 - ・ 燃焼の上に油流路の照明器具のない場所
 - ・ ガス材料が燃焼を使用した壁と連続されない場所

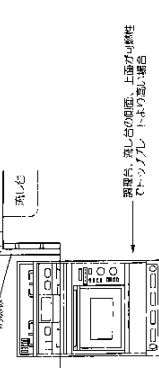


お願い

- 周囲には可燃物(体製の壁、たななど)のある場所につき、上はトップレート上面より150mm以上、上はトップレート上面より100mm以上離して設置します。
- 可燃性の壁(ステンレス板など)を覆ったトップレート上面より100mm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。



● 防熱板については、お買い上げの販売店またはもよりの「東成ガス」にお問い合わせください。
● 指足の防熱板以外は絶対に使用しない。



9 コンロ・グリルの使いかた

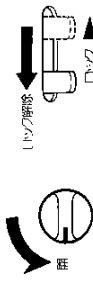
コンロ・グリルを上手に使うには 10

取扱説明書

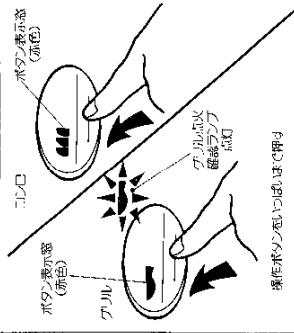
RN-A024GP-HL <RSU-4600CS-L>
RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>

1 6 7 0 8 4 4
1 6 7 7 8 4 5 1 3 0 6

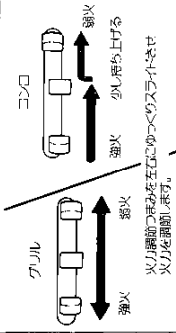
1 準備



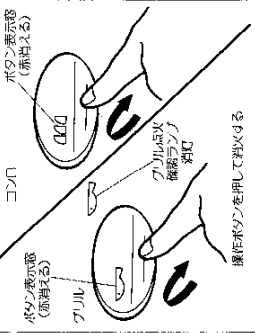
2 点火



3 火力調節



4 消火



お 願 い

- 操作ボタンは押しっぱなしに押し続けてください。途中で操作ボタンから手を離すと点火しません。
- パーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間(空気を抜き置きが働くまで)、そのまま押し続けてください。

● 火力調節つまみの位置が「弱」のとき操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。

● 点火時はパーナーが同時に「待待待」と音を出すのでその音で異常ではありません。

△ 注意

● カン、点火しないときは操作ボタンを一旦消火の状態にし、10秒間のガスがなくなつてから再度点火操作をしてください。

△ 注意

● なべによつては、取っ手を握るおそれがあります。必ず支の大きさを見て火力を調節してください。

● (グリル) 燃える食品は火力強、弱、グリル機能の状態で調節してください。

● (コンロ) 強火にした時、パーナー中央に近い穴の火が消えることがありますが、異常ではありません。(チャオパーナー)

● 必ずガスが消えたことを確認してください。

お 願 い

● 小さいお子様のいたすところには必ず消火防止やガス漏れ防止のため、コンロから離れるときは高いためお部屋のガス栓(または、この機器と接続されているユニット型/ガスレインズの中間コック)を閉めてください。

コンロ

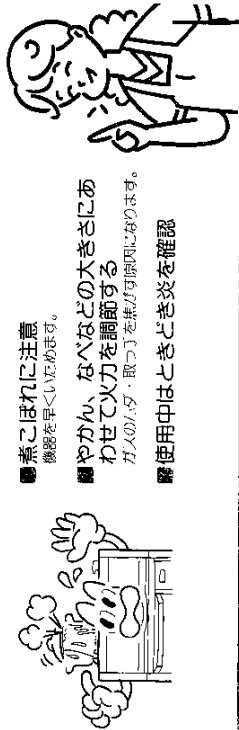
■ 標準パーナー [天ぷら油温熱防止機能付] ■ チャオパーナー

天ぷら、フライなど揚げものの調理、煮もの調理に使用します。

焼きもの調理や炒めもの調理など、高温を必要とする調理、煮もの調理、充填食品の再加熱に使用します。

お 願 い

天ぷら油温熱防止機能が付いた標準パーナーは、液状温度になると自動消火します。このため焼きもの調理や炒めもの調理など的高温を必要とする調理では、途中で消火してしまふことがあります。また充填食品(うどん、そばなどのなべ付食器・インフレーター、高圧、カレー、シチューなどのなべ付食器)から生じた湯気(など)は、温度上昇が速いため温度センサーが正しく機能しないことがありますのでチャオパーナーをお使いください。



標準パーナー (天ぷら油温熱防止機能付) の使いかた

① 調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないとセンサーが正しく調理油の温度を測定できません。

② なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを30%以上が必要で、できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべの中心が温度センサー一部に接触するように、正しくセットしてください。また、安産性の悪いなべは使用しないでください。

③ 温度センサーの位置

300ml以上

平皿

鍋蓋

温度センサー

△ 警告

■ 温度センサーの上面となべ底は密着していないときは使用しない。そのまゝ使用すると調理油が着火することがあります。

なべ底が凸凹

鍋蓋が凸凹

傾斜

すさま

禁止

■ 調理油の量は200ml以上で使用する。調理油の量が少なくなつたり、減つてきたりすると着火することがあります。

13 各装置・電池確認ランプについて

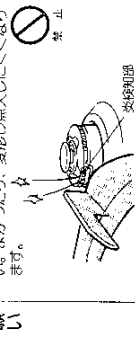
立消え安全装置

煮こぼれなどで火が燃えると、ガスが自動的に止まります。

- 立消え安全装置が作動したら

使用中、火が燃えたと感じたら、すぐに操作ボタンを押し、消火の状態を確認してください。

再点火するときは、ガスがなくなるまでしばらく待つて、立消え装置の作動を確認してから、使用ください。



立消え装置

- 立消え安全装置（炎検知部）に水蒸気や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底に水滴がたまり、消火しにくくなるので、ここの上にのせてください。
- 炎検知部に油のこぼれがたまると、燃えやすくなります。こぼれがたまると、変形し点火しにくくなるので、こぼれがたまると、ここの上にのせてください。

禁止

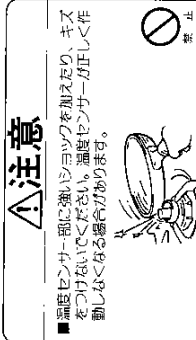
天ぷら油過熱防止機能

消し忘れ・米宮知事などによる調理中の過熱防止します。

- 天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が燃えたと感じたら、すぐに操作ボタンを押し、消火の状態を確認してください。

なべや油が相当熱くなると、自動的にガスが止まります。再点火するときは、ガスがなくなるまでしばらく待つて、立消え装置の作動を確認してから、使用ください。

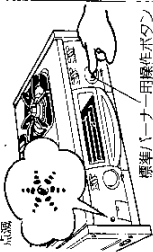


立消え装置

電池確認ランプ

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池確認ランプがついています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点滅が変わったら交換してください。（P7参照）

- 点滅から点滅に変わると使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。
- 電池確認ランプは、操作ボタンの操作ボタンを押しただけで作動しません。他の操作ボタンを押しただけで乾電池の消耗が分かるとしても点滅や点滅に変わらないうちに乾電池の交換が必要です。
- 乾電池が正しくセットされていないと点滅しません。この場合、乾電池パックの「リチウム」音がします。音がしませんので、ただちに乾電池を交換してください。



電池確認ランプ

お手入れのしかた

14

取扱説明書	RN-A024GP-IHL <RSU-4600CS-L>	1	6	7	0	8	4	4
	RN-A024GP-HR <RSU-4600CS-R>	1	6	7	7	8	4	5
13081								

警告

下記のお手入れをする際、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 点検：お手入れの前には必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。
- お手入れの際は、プラグを抜いておいてください。
- 機器本体に水をかけたり、拭いたりしないでください。

日常の点検

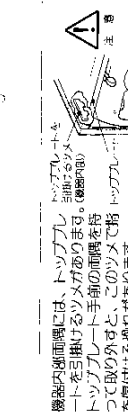
- 機器本体に燃えやすいものがかかっている場合は、必ず取り除いてください。
- ガス配管に異常がないか確認してください。
- ガス配管の接続部分に異常がないか確認してください。
- ガス配管の接続部分に異常がないか確認してください。

機器本体

●中性洗剤（洗剤・洗剤）で洗剤を落とすときは、必ず中性洗剤（洗剤・洗剤）を使用してください。

トッププレート・受皿の掃除

トッププレートは、掃除機で吸い取り、拭き掃除してください。トッププレートは、掃除機で吸い取り、拭き掃除してください。

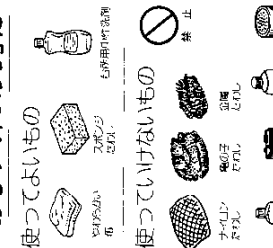


トッププレート・受皿の掃除

- 掃除機で吸い取り、拭き掃除してください。
- 掃除機で吸い取り、拭き掃除してください。
- 掃除機で吸い取り、拭き掃除してください。

●お手入れの際は、必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。

お手入れの際は



●お手入れの際は、必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。

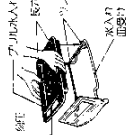
- お手入れの際は、必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。
- お手入れの際は、必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。

●お手入れの際は、必ずガス栓（中間コック）を閉じ、機器が冷えてからおこなってください。

お手入れのしかた

グリル水入れ皿・グリル焼網

- グリルとびらを各別の単位においてそのつどお手入れします。(中性洗剤で洗って乾いた布で水気を拭き取ります。)
- グリル水入れ皿は「前」刻印を手前、し後部穴を水入れ皿受けのツブに入るようにセットします。

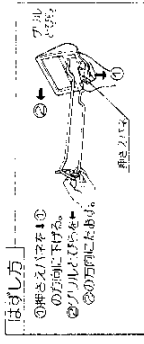


△注意

■洗剤が多量に入ると熱に引火し機器内部を焼損する場合があります。

グリルとびら・グリルとびらガラス

- グリルとびら・グリルとびらガラスは、そのつど汚れた際とびら・グリルとびらをおはしますと便利です。
- 汚れたのどかいたい場合は中材が割れお手入れをし強い布で水気を拭き取ります。



取付け方

- ① 水入れ皿のツブと、ひらの穴穴に合わせ、
- ② へらの方へ向かって、押し込む。
- ③ 押込みが完了したら、裏面に付いているがねを回して、しっかりと固定する。

△注意

■グリルとびら、グリルとびらガラスはミガキや研磨剤などを使用しないでください。ガラスに傷をつけるに繋がる場合があります。

故障かな?と思ったら

次のことを調べてください。

現象	原因	処
点火しない	ガス(中層コック)の調整不良 ハーネキヤップの取付不良 気配物が入っていないまたは正しくセットされていない 電池リークが原因に差し込まれていない 温度センサーが高温になっていない	正しくセットしてください。(P7参照) 正しくセットしてください。(P7参照) 確実にセットしてください。(P7参照)
点火しにくい	温度センサーの不具合 ガス(中層コック)の調整不良 乾燥中に空気が残っている ハーネキヤップの取付不良 ハーネキヤップの取付不良 点火プラグの交換が必要 乾燥中の状態 温度センサーが高温になっている 温度センサーの不具合 ハーネキヤップの取付不良 ハーネキヤップの取付不良 立消え安全装置部分の汚れ ハーネキヤップの取付不良 ハーネキヤップの取付不良	温度センサーを冷やしてください。 点検修理を依頼してください。 ガス(中層コック)を手動にしてください。 点火動作をくり返してください。 ※ 約1分、高層時など点火するまでしばらくお待ちください。 正しくセットしてください。(P7参照) 炎口を掃除してください。(P16参照) 水ぬれ、汚れを拭き取ってください。 新しい乾電池と交換してください。(P7、P16参照) 温度センサーを冷やしてください。 点検修理を依頼してください。 正しくセットしてください。(P7参照) 正しくセットしてください。(P7参照) 立消え安全装置を掃除してください。(P16参照) 炎口を掃除してください。(P7参照) 正しくセットしてください。(P7参照)

なお、異常のあるときやお取り扱いにならないときは、お買い求めの販売店、またはおよりの「東京ガス」にご連絡ください。不完全な製品は事故の原因にもなります。

△警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。

ありてはガス(中層コック)を調べてください。

こんな場合は故障ではありません。

- はじめにグリルを使用しますとグリル内の加湿剤が抜け煙が出ます。約15分くらい、から乾かしてください。
- 点火の動作をしているとき、「待たせ」という放電とともに電圧降下ランプが点灯することがあります。故障ではありません。
- 明一帯など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しにくいことがあります。機器内部の空気が抜け、ハーネキヤップが来るまで数回、点火をくり返してください。
- 点火時に「ボン」という音がすることがありますが、これは点火が済んだときの音で異常ではありません。

ハーネキヤップ

- 水洗いする。(無ければ毎日または1週間おきの水洗いを推奨します。)
- 水洗いするときは、必ず水が流れる状態で、白布で裏面を洗ってください。

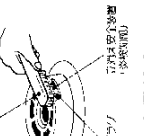


お願い

- 水洗いした後は必ず水気をとること。(異常燃焼の原因)
- ハーネキヤップの裏面(炎口は除く)は中性洗剤、スポンジなどで洗ってください。石鹸、漂白剤、強い洗剤は使用しないでください。
- 定期的に燃焼確認してください。

点火プラグ・立消え安全装置

- 蒸気はれはたきやすくなります。
- 汚れたのどかいたい場合は、両プラグなどは、両プラグなどで掃除してください。



お願い

- 両プラグでこすって取り除いてください。
- 水気は必ず拭き取ってください。

温度センサー

- 温度センサーの周囲について茶汁やゴミは、布で拭き取り、水に濡らして拭き取ってください。

△注意

- 温度センサーのお手入れは、はじめにおこなう、または上下にスリーブに動かすことを推奨します。
- 異物が付いている、温度センサーの動きが悪い、なべ底と煙道に近い部分に異物がある場合は、清掃する必要があります。



